

令和4年2月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和4年2月25日(金)午後3時00分開会 午後5時10分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第5号から第8号
日程第7 報告事項 報告第3号から第4号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番 鹿嶽昌功 2番 大野裕己
3番 三木尚美 4番 中上之仁
5番 中野文雄

○説明のため出席した者（5名）

学校教育部長 松下 修 子育て応援室長 西垣戸 泰
教育総務課長 浅野 晋司 教育総務課担当課長 上野 樹
学校教育課長 山本直也

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表 大野 正人
小学校校長会代表 木久 整

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 鈴木さやか
清家梨奈子

○会議録署名委員

教育長 鹿嶽昌功
教育委員 中野文雄

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和4年2月第275回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議案第7号「職員の分限処分について」は特定の個人の情報を含んでいるため、非公開とし、全ての議事・報告が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。また、本日は追加議案がございます。議案第8号「令和3年度一般会計3月補正教育予算案(追加議案)に関する教育委員会の意見の申し出について」ですが、未確定の情報等を含んでいるためこちらも非公開とし、後ほど審議したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。では議案第7号、第8号は非公開とすることといたします。資料については後ほどお配りいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和4年1月27日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、5番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和4年2月25日金曜日午後3時00分開会
といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

3学期も残すところあと1か月となりました。新型コロナウイルスの感染もここ1か月、子どもたちを中心に拡大し、各学校においても「感染を持ち込まない、広げない」ことを基本に、感染リスクのある教育活動は行っていません。そのような中で、子どもの健康状態から感染拡大が懸念される場合は、学級閉鎖等の臨時休業を行い感染予防に努めているところです。これまで40件を超える閉鎖を実施してきましたが、今週あたりから少し落ち着いてきたと思っています。
ただ、依然厳しい寒さの中、換気もしづらく、また、部屋に閉じこもることで感染のリスクは高い状態が続きます。
兵庫県におけるまん延防止措置地域の指定も3月6日まで延長されましたが、今年度もあと1か月です。なんとか感染が収まり、子どもたちが安心して、笑顔で卒業式、修了式を迎えることができるよう取り組んでいきたいと思っております。
それでは、前回1月27日以降の活動等について、報告いたします。

1) 高校生議会(1/30)

1月30日日曜日に令和3年度の高校生議会が開催されました。今年も昨年同様、新型コロナウイルスの感染対策として、市役所の議場と各高等学校をオンラインでつなぎ、リモート形式及び一部議場参加の形で開催されました。今回もひまわり特別支援学校高等部から1名参加してくれました。一般の方もなかなか入れる場所ではありませんが、高校生として市議会議場に出席し、三田市長に対して直接質問するという経験ができたこと、高校生活の良い思い出になったのではないかと思います。

今年、そのひまわり特別支援学校の1名を含め14名が質問に立ちました。教育委員会に対しては1名が、「平和教育の新しいカタチ」について小中学生から大人まで、体験を通した平和学習のご提案がありました。私からは現在の取組の状況と、ご提案のあった趣旨も含めて、学校現場や市民講座の場などで平和の尊さをより実感できる体験活動や実践に取り組んでいきたいと答弁させていただきました。

2) 令和3年度第2回阪神7市1町教育長協議会(2/8)

2月8日三田市が当番市で本年度2回目の阪神7市1町の教育長協議会を開催しました。当日は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リモートによる会議としました。

議題は、「就学前教育について」「放課後児童クラブ・放課後子ども教室について」「部活動の外部委託、地域移行について」の3点でした。

「就学前教育について」は、幼稚園・保育所・認定こども園など就学施設の所管組織と国の「子ども家庭庁」設置に向けた市町の組織の考え方ということ、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室について」は、児童クラブでも待機児童が出ている中で、民間施設や夏休み特設などの対応について、「部活動の外部委託、地域移行について」は、令和5年度からの段階的な中学校部活の地域移行という国の方針を受けた各市の取組状況について3点の意見交換をしました。

各市の考え方や課題解決のための取組等、今後の本市の取組の参考としていきたいと思っています。

また、当日は新型コロナウイルス感染に伴う学級閉鎖の考え方など、各市の考え方についても情報共有することができました。

3) 令和4年度予算の発表(2/10)

2月10日令和4年度の予算が発表されました。一般会計418億円、特別会計企業会計を含む全会計で約840億円、前年比2.5%の伸びの予算です。すでに記者発表されたものですが、この内容については後ほど説明させていただきます。

4) 令和4年3月三田市議会定例会(第365回)の開会(2/17)

2月17日3月議会が開会しました。3月29日まで41日間の会期で、先ほどの令和4年度予算案を始め、条例案件及

び教育委員会から提案しています「第3期三田市教育振興基本計画」などの事件決議について審査いただきます。

当該教育振興基本計画につきましては、2月22日の福祉教育常任委員会で審査いただいたところです。

一般質問は各会派代表による代表質問となりますので、教育関係についての質問があればしっかりと答弁してまいります。

以上が2月の報告です。3学期もあと1か月となりました。この1年を振り返り、次年度につなげていきたいと思っております。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に移ります。

(1)学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第1号関係】

議案第5号「『三田市立幼稚園再編計画』の策定について」事務局から説明をお願いします。

○子育て応援室長
(西垣戸 泰)

議案第5号「『三田市立幼稚園再編計画』の策定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

昨日、総合教育会議にて皆さまからご意見をいただきましたがあらためてご確認いただき何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

通園バスについてお伺いします。常時2台バスが用意されているということですが、例えば本庄幼稚園まで園児を迎えに行く場合、本庄幼稚園だけに向かうのではなく周辺の幼稚園も含めて1台でお迎えに行くということですか。

○子育て応援室長

ご心配いただいているのは園児の安全性の確保、バスの乗車時

(西垣戸 泰)

間、または保護者の方の利便性についてだと思いますが、これらについてはさまざまなお意見をいただいています。今はバスを利用する対象の園児が誰になるのかわからない状況ですので、具体的にバスをどこに停車し、どこから乗車するのか等は明らかにできないのが現状です。

バスのルートについて、だいたいのイメージはありますが、まだ確定ではございません。ただ、本庄幼稚園、高平幼稚園など決してその園だけに向かうのではなく周辺も回るイメージで考えています。

○教育委員
(中上 之仁)

保護者にとっては高平幼稚園へバスが来るなら、まず幼稚園までは自分たちで送らなければならない負担等も出てくるので、実際に幼稚園に通う園児が決まれば、バスの運行ルートについて通園させる保護者の方の意見も聞いていただければと思います。できるだけ希望の叶うような形で進めてほしいです。

○子育て応援室長
(西垣戸 泰)

わかりました。ご意見ありがとうございます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

再編後の夏休み等の長期休業中の預かり保育に関しては、子育て支援でもあり就労支援型の預かり保育もできますので、そういった点は認定こども園の強みだと思います。

また、再編後の認定こども園については予定定員90名となっております。かなり園児数の多い園が増えますので、そこへ配置する教職員についても保育、教育を行う中で資質向上の部分が問われると思います。

園児数についてですが、今後の再編に向けた市立幼稚園における園児数を見ると、再編した園で2号認定の枠が空いてくると予想されます。例えばニュータウンの保育が必要な子どもを、その空いている2号認定の枠へ受け入れることは可能ですか。

○子育て応援室長
(西垣戸 泰)

基本的に幼稚園型の認定こども園なので1号認定が中心になると考えています。園区内1号認定の園児が全員入れることが前提で、かつ2号認定の枠も用意する予定です。2号認定の枠については子ども審議会等での需要と供給についての協議を踏まえて決めていかなければならないと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

2号認定の園児が増えれば、教職員の配置もそれに合わせて増えていくことが考えられます。現段階においては当初の2号認定の募集は5名であり、受け入れ状況によって定員に空きがある場合は5名以上もあり得るとのことなので、実態に合わせて運用していけば良いかと思えます。

○子育て応援室長
(西垣戸 泰)

今は待機児童も減少傾向にありますし、新しく保育園もできるということですので、一番待機児童の多いウディタウンの方はそちらへ行くのではないかと思います。そのうえで農村地域の待機児童が再編後の認定こども園へ来ていただけるとなると、特定の地域で偏ることなく全体的に待機児童が減少していくのではないかと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
他に何か確認しておきたいこと等ありますか。

○教育委員
(中野 文雄)

閉園後の幼稚園施設の活用についてですが、閉園された施設の活用方法について地域の方へきちんと示していくことが大事だと思います。これまで地域の中で育まれてきた幼児教育を、さらにレベルアップするための再編であり、閉園したことが決してマイナスではないと思っていただけたら良いでしょうし、閉園後の施設の活用についても、具体的な案を出して検討いただきたいと思います。やはり子どもの居場所であったり、子育て世帯の居場所、または、地域の幼児教育の拠点としてこれまで育まれてきた特色あるものを生かした活用方法を考えていただきたいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問やご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

これまでは人数が少ない幼稚園では支援の必要なお子さんに対して細やかな対応をいただいていたかと思いますが、再編で子どもたちが集約され増えることによって、必然的に先生方の負担も増えてくるかと思えます。大変だとは思いますが、支援の必要なお子さんについて引き続きご対応をお願いします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
ないようでしたら、提案通り議決ということでよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。それではこの通り議決とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、議案第6号「三田市いじめ防止基本方針の改定について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育課長
(山本 直也)

議案第6号「三田市いじめ防止基本方針の改定について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

この度の改定案の内容を見ますとより具体的になっており、取組についての方向性が示されている点においては、前の基本方針より前進していると思います。学校だけで問題を抱えるのではなく、常に保護者や地域との連携が大事になってきます。子どもを取り巻く環境が日々変わっていく中で、学校が子どもたちを総括的に見ていくために、地域とどのように協働していくかもあらたな課題となってくると思います。また、学校の取組が組織的に取組ことはとても大事だと思います。全体で共有するということがひとりひとりを見守ることに繋がるという意識を持つと同時に、専門家であるスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーをどう活用するかも大事になってくると思います。「いじめ見逃しゼロ」と明確に示されたのは良いことだと思いました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
他に何かご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

地域との連携がいかに大事かというのが随所に盛り込まれていますが、例えば三田型コミュニティ・スクールとの連携について具体的にどのように考えていますか。10ページの「学校いじめ防止基本方針の策定と見直し」のところでは、児童生徒、保護者、地域住民等の意見も参考にとあります。年間計画も作成、実施となっていますので、目標共有を実質的に進める意図は読み取れます。そのうえで国の基本的な方針もあわせてみると、幅広い連携協働でいじめに対応する基盤を作っていく中で、三田型コミュニティ・スクールの位置づけについて教えていただきたいと思いました。

○学校教育課
(山本 直也)

地域と問題を共有したり取組を進めていく中で、あらためて地域の力がすごく大きいと感じています。その入り口でありきっかけとなるのが三田型コミュニティ・スクールであると考えています。学校から地域や保護者へ発信する最初の第一歩には、大きな核として三田型コミュニティ・スクールを活用していきたいと思っています。

○教育委員
(大野 裕己)

ありがとうございました。

○教育委員
(三木 尚美)

学校での特別活動等の中で、子どもたちに対する取組として、ということがいじめとなるのか、いじめの定義を意識できるような教育をお願いしたいと思います。言葉の暴力などをまだまだ意識できていない子どもたちもいると思います。また、そういった言葉を浴びせられたことを発信できない弱い子どももいますので、教育の観点から指導をお願いしたいと思います。

○学校教育課
(山本 直也)

何がいじめなのかについて、大人も子どもも自己流に解釈してしまうこともありますので、法の定義に基づいた理解というのをベースに進めていきたいと思っています。その理解を進めていくことによって、自ら発信できない子どもの、その周りの子どもがそれに気づき発信していけるように取組を進めていきたいと思っています。

○教育委員
(三木 尚美)

ありがとうございます。よろしくお願いします。

○教育委員
(中野 文雄)

「いじめ防止における具体的な取組」に示されていますが、対応ばかりが強調されるのではなく、日頃から子どもたちの様子に目を向け「いじめ見逃しゼロ」というよりは、いじめを発生させないような学校としての取組を柱にすることが大事だと思います。それぞれが分担して取り組むことよりも、大事なことを取組の中心におくことによって、あらたにスクールソーシャルワーカー等と連携しながら進めていくことができ、「いじめ見逃しゼロ」へ繋がっていくと思います。

○学校教育課長
(山本 直也)

いただきましたご意見をしっかり学校へも伝えていきます。また担当課において、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの資質向上に向けた取組も年間通じて行っておりますので、専門スタッフにも伝えていきたいと思っております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければこの通り議決とさせていただきます。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第3号「令和4年度当初予算の概要について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課担当
課長(上野 樹)

報告第3号「令和4年度当初予算の概要について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

学校の図書の本について、破損して使えなくなった本はどうなるのですか。

○教育総務課担当
課長（上野 樹）

各学校で確認いただいて使えないほど損傷のある本は廃棄となり、その分を新しく購入しています。

○教育委員
（三木 尚美）

例えばどこかその本を必要とされるところへ寄贈する等できないのでしょうか。

○教育総務課担当
課長（上野 樹）

基本的に廃棄基準を設けていますので、学校で廃棄と判断された本は、損傷がひどく使えない状態の本ということになります。

○教育委員
（三木 尚美）

わかりました。ありがとうございます。

○教育長
（鹿嶽 昌功）

他に何かご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

○教育長
（鹿嶽 昌功）

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課担当
課長（上野 樹）

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
（鹿嶽 昌功）

何かご質問等ございますか。
ないようでしたら、以上で報告とさせていただきます。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
（鹿嶽 昌功）

では、次回3月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課担当
課長（上野 樹）

3月教育委員会定例会の開催日時は令和4年3月24日（木）午後1時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしく願いいたします。

○教育長
（鹿嶽 昌功）

それでは、各校長からの報告です。
中学校代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
（大野 正人）

○新型コロナウイルス感染拡大の影響について

「新型コロナウイルス」感染症の第6波により、三田市立中学校でも、学年閉鎖、学級閉鎖などの臨時休業措置が数校でとられています。また、臨時休業措置をとっていない学校でも、感染や濃厚接触、本人及び家族の風邪症状、さらには感染不安による出席停止が多く出ています。特に、入試を控えた3年生の感染不安による出席停止は社会でも問題となっています。このような厳しい現状ではありますが、三田市立中学校では、「まん延防止等重点措置の適応に伴う学校における対応について（1月27日付）」及び「同じく延長されたことを踏まえた学校における対応について（2月21日付）」やマニュアル等を抛りどころに、教育委員会のご指導温かいご支援のもと、子どもたちや保護者とともに、教育活動を円滑に進めています。

○学年末考査について

本校では、本日25日まで、1・2年生の学年末考査を実施しました。また、卒業を2週間後に控えた3年生は既に22日までに終了しています。考査は通常、各学級で行うことは一般に周知の事実ですが、本校ではそれに加え、兵庫県公立高等学校の入学検査に準じる形で、別室受験や特別措置を行っています。「新型コロナウイルス」感染症の影響もあり、さまざま理由により考査を当日に受験できない生徒も出ています。兵庫県公立高等学校の学力検査、いわゆる一般入試では、大学入学共通テストのように、別問題による追試験が実施される予定になっていますが、各中学校で公平性を担保しながら考査の追試験を作成することは極めて困難な状況にあります。しかしながら、追試験のニーズはますます高まり、教育委員会のご指導のもと取り組まなければならない喫緊の大きな課題といえます。

○受験・就職に向けて

ここまでは、中学校での試験についてお話ししましたが、進

学、就職に向けての入試がいよいよ佳境に入っています。2月10日、11日の私立高等学校等を皮切りに、国立高等学校、国公立高等専門学校、16日、17日の兵庫県公立高等学校の推薦及び特色選抜、22日の特別支援学校と、名称はそれぞれ違っていますが、いわゆる入学試験が各校で実施されています。兵庫県では公立高等学校の「学びたいことが学べる魅力ある学校づくり」が進められています。生徒ひとりひとりには、小学校6年間と中学校3年間のキャリア学習の総まとめとして、自ら考え、家庭でしっかり話し合い選択した、それぞれの進路へ向けて、着実に一步一步前進してほしいと願います。

○生徒からのサプライズ企画

17日から、社会科教諭で1年生を担当する先生が、新しい「命」を授かりお休みに入っています。その前日、最後のSHRでのエピソードです。クラスの子どもたちは、新しい「命」の誕生を祝福し、これまでの担任の先生への感謝を表現するため、サプライズを用意したそうです。そのサプライズは、生徒用タブレットで撮影、加工し仕上げた、手作りのプレゼントだったということです。子どもたちは、他のクラスや先生たちにも知られないよう、このプレゼントを自分たちの力だけで創り上げたということです。内容は3分程度のものですが、プロの作品と疑うほどレベルの高いものに仕上がっていると、学年の先生たちはみんな感動するとともに驚愕しています。GIGAスクールは素晴らしい、そして何よりも子どもたちの可能性は無限大であると、改めて強く感じています。このサプライズを目の当たりにした若い先生の「先生って本当に素晴らしい仕事ですね。」というつぶやきと、子どもたちの真心を受け取った担任の先生の眼に浮かぶ涙を、私は一生忘れることがないでしょう。

残念ながら、本日現在もお休み入った先生の代替教員は着任されていません。更に、本校では他にも2名、教員の欠員が発生しています。子どもたちの学力保障と安心安全の担保が大変不安です。また、3名の欠員分の業務内容は、他の教員にすべて付加されており、先生たちの心と体が心配です。生徒や保護者にこれ以上迷惑をかけることはできません。本校以外でも欠員はあると聞いています。現場では、今後も人材確保を教育委員会事務局とともに懸命に努めてまいります。

最後に、今後とも私たちは、子どもたちの「命」と「心」を最優先し、安全・安心の中で教育活動ができるよう、「新型コロ

「ナウウイルスを学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本とし、感染症対策に最善をつくすとともに、子どもたち一人一人の心のケアに全力を尽くしながら、日々の教育活動に全身全霊で努めてまいります。

教育長様始め教育委員の皆様、そして事務局の皆様には、いつもいつも学校に寄り添い丁寧にご指導ご支援を賜り心より感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。そして、何よりもどうぞご自愛ください。

○小学校校長代表
(木久 整)

○学校行事について

新型コロナウイルス感染症がようやくピークアウトしつつあるようですが、さらに感染力の強いステルスオミクロン株の感染者が日本でも確認されているようで、まだまだ予断を許しません。早く平時を取り戻したいと願いつつ、今年度もあとひと月と少しになりました。

各小学校では、2月下旬から3月上旬にかけて、最高学年として学校生活の多くの場面や行事でリーダーシップを発揮してくれた6年生に対して、在校生が感謝の気持ちを伝え、卒業を祝う「6年生を送る会」が開催されます。全校生が一か所に集まらない学校もあるようですが、5年生が中心となって実施方法や内容を工夫し、例年以上に感謝の気持ちとお祝いの気持ちがこもった時間になるように計画や準備が進んでいると聞いています。

○学校評価について

またこの2月は、今年度一年間の学校運営や教育課程の取組を振り返る学校評価を行っています。教職員による評価や保護者の評価、学校関係者評価等をもとに、成果と課題を明らかにしていきます。感染症対策と学びの保障を両立し、工夫して実施してきた今年度の教育活動を検証することで、従来の学校運営や教育課程から発展した令和の学校運営や教育課程を編成することにつなげたいと前向きにとらえています。

感染症対策を確実にを行うとともに、子どもたちが今年度をしっかり締めくくり、次の学年、次のステージに向けての希望を持って4月を迎えられるよう、あとひと月精一杯取り組んでいきたいと思っております。

○教育長

ありがとうございました。

(鹿嶽 昌功)

それでは引き続き議案第7号、第8号の審議に入ります。ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。